

1 ポート 2 センシング エアセンサ ISA3 の設定方法



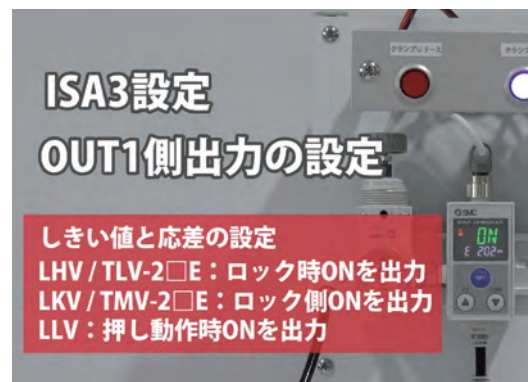
2 次側圧力の表示方法

> 見る

クリックで YOUTUBE 動画へリンクします。



本紙印刷を印刷いただき
左記 QR コードより
スマートフォン等で
上記動画をご覧いただけます。



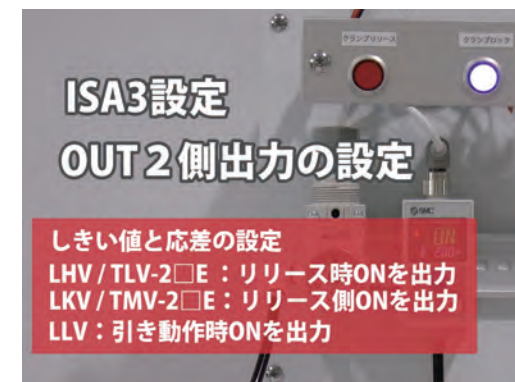
OUT 1 設定方法

> 見る

クリックで YOUTUBE 動画へリンクします。



本紙印刷を印刷いただき
左記 QR コードより
スマートフォン等で
上記動画をご覧いただけます。



OUT 2 設定方法

> 見る

クリックで YOUTUBE 動画へリンクします。



本紙印刷を印刷いただき
左記 QR コードより
スマートフォン等で
上記動画をご覧いただけます。

1ポート2センシング

スイングクランプ model LHV / TLV-2□E

リンククランプ model LKV / TMV-2□E

リフトシリンダ model LLV

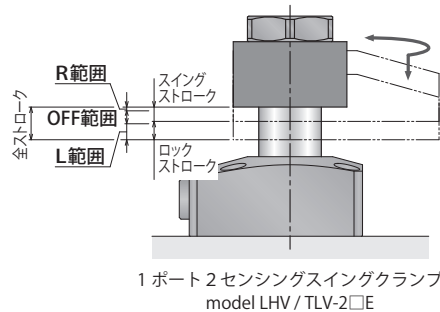
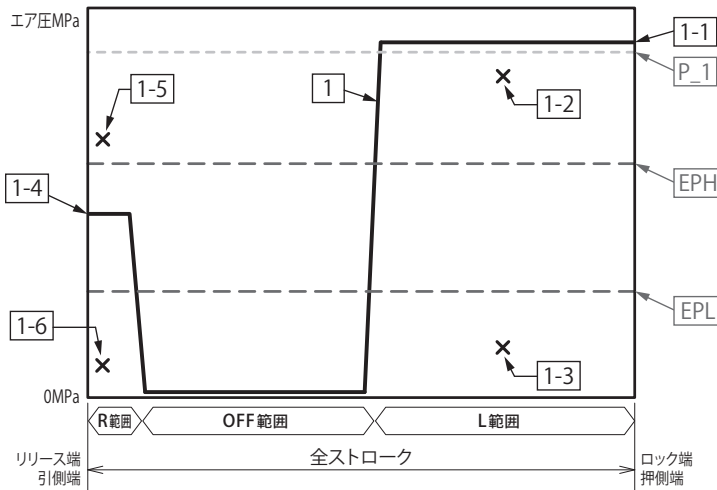
エアセンサの設定

※エアセンサはSMC製デジタル着座スイッチ（形式：ISA3-G□A、ISA3-G□B）を使用して設定してください。

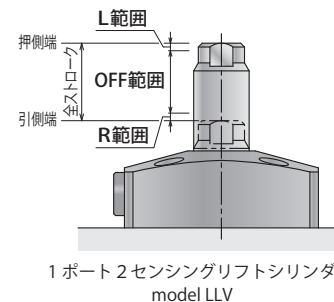
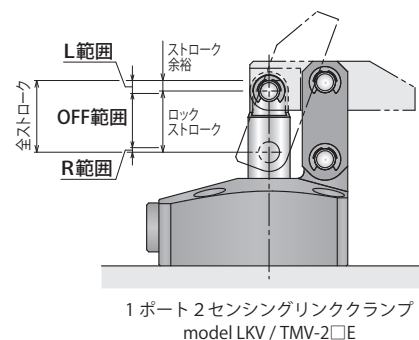
エアセンシングチャート

クランプ・シリンダの動作とセンサ二次側回路圧力の関係を示したセンシングチャートとしきい値設定のイメージ図を示します。

※動作位置の詳細はカタログを参照願います。



L範囲：ロック(押し)時センサ
OUT1のON範囲を示します。
R範囲：リリース(引き)時センサ
OUT2のON範囲を示します。



記号	説明	備考
1	クランプ・シリンダ動作正常時の圧力線図を示します。	
1-1	クランプ・シリンダ全数が正常にロックした状態の圧力。供給エア圧と同じ圧力になります。	
1-2	【異常時】ロック時に1台のクランプ・シリンダが何らかの原因でリリース状態で停止している場合の圧力	実際の回路での確認を推奨します。
1-3	【異常時】ロック時に1台のクランプ・シリンダが何らかの原因で動作途中で停止している場合の圧力	
1-4	クランプ・シリンダ全数が正常にリリースした状態の圧力	
1-5	【異常時】リリース時に1台のクランプ・シリンダが何らかの原因でロック状態で停止している場合の圧力	
1-6	【異常時】リリース時に1台のクランプ・シリンダが何らかの原因で動作途中で停止している場合の圧力	
P_1	OUT1のON信号出力のしきい値を示します。	しきい値：10に設定してください。
EPH	OUT2のON信号出力範囲の上限値を示します。 1-4の値より高く、1-5の値より低い数値で設定してください。	設定値の目安表を参考にして設定してください。 (実際の回路圧を確認して設定することを推奨します。)
EPL	OUT2のON信号出力範囲の下限値を示します。 1-3の値より高く、1-4の値より低い数値で設定してください。	

※リフトシリンダの場合、上表のロックは押し、リリースは引きとなります。

センサしきい値設定表（目安）

使用形式、1センサ当たりの接続クランプ台数、供給エア圧により下表の数値でしきい値の設定をしてください。

（本表数値は目安です、実際の条件には適合しない場合がありますので回路圧の実測をして数値を決定することを推奨します。）

供給エア圧 [MPa]	対象形式		LHV・LKV・TLV-2□E・TMV-2□E			LLV	
	設定項目		接続台数			接続台数	
0.200	OUT1		10			10	
	OUT2	EPH [kPa]	187	160	129	195	170
		EPL [kPa]	95	80	65	100	80
0.150	OUT1		10			10	
	OUT2	EPH [kPa]	139	118	92	145	125
		EPL [kPa]	70	60	50	75	60
0.100	OUT1		10			10	
	OUT2	EPH [kPa]	91	75		95	80
		EPL [kPa]	45	40		50	35

- ・しきい値設定と併せて、応差の設定も必要となります。OUT1・2ともに応差は必ず[0]にしてください。
- ・供給エア圧が高い方が安定した検出が行えます。供給エア圧は可能な限り高くすることを推奨します。